

日 本 史

(問 題)

2025年度

〈2025 R 07190015 (日本史)〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～15ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input checked="" type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、下記の問1～6に答えよ。問1については、解答を記述解答用紙に記入せよ。問2～6については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。なお、史料は一部書き換えたところがある。

権力者が人々を従わせる際には、暴力などによって直接的に強制する場合もあるが、常に暴力を用いずとも、何らかの後ろ盾を得たり、物理的なモノや立ち振る舞いなどによって人々の五感に訴え、社会的・心理的な拘束力を生じさせている。日本古代の歴史を振り返っても、権力者が人々を従えるための工夫は様々なところにみられる。

卑弥呼は多くのクニ（小国）が連合した邪馬台国連合の盟主であるが、倭国大乱を経て「共立」された存在であったため、自らの権力を人々に示す必要があった。Aへと使者を送って皇帝から称号を得たのも、邪馬台国連合をまとめ、さらに対立する狗奴国との戦争を有利に進めるためであった。

卑弥呼の死去にあたり「冢」がつくられて葬られたとされているが、多くの労働力を動員して大きな墓を目立つ場所に造営することもまた、権力を示すものであった。卑弥呼の「冢」にあたるともいわれている箸墓古墳は出現期の前方後円墳であるが、b一定程度、規格化された古墳が日本列島の各地につくられるようになったことは、広範囲に及ぶ政治連合が成立したことを表していると考えられている。古墳の形状や大きさから、権力関係を読み解くことができるのである。

『日本書紀』によれば、c大化改新に際して薄葬令が出されて、豪族がつくる古墳の簡素化が目指されたという。この史料には様々な解釈があるものの、実際に7世紀頃になると前方後円墳はつくられなくなる。一方で大王やその子などは八角墳と呼ばれる特殊な形状の古墳を営み、d大王家と他の豪族とを差別化することで権力を示した。

国家運営が豪族連合の段階を脱し、天皇の下で豪族たちが官僚化された律令国家において、天皇の権力を可視化する役割を果たしていたのが都城である。貴族は自身の拠点地域ではなく京内に住まわされ、天皇との距離感に応じて高位の者ほど宮に近い位置に邸宅を与えられた。平城宮では、即位や元日朝賀などの重要な儀式が行われた儀礼空間であるBに天皇がしゅつぎょ出御する際には、「天子南面」の原則に従い、天皇とBの前に並んだ貴族たちは向かい合い、臣下が天皇を仰ぎ見る形をとることで君臣関係を確認する場となった。

問1 空欄Aにあてはまる国名を、漢字で記せ。

問2 下線部aの人物について述べた以下の史料から読み取れることとして、誤っているものはどれか。一つ選べ。

史料

鬼道を事とし、能く衆を惑はす。年已に長大なるも、ふせい夫婿無く、男弟有り、なす佐けて国を治む。王と為りしより以来、見ること有る者少なく、婢千人を以て自ら侍せしむ。唯男子一人有り、飲食を給し、辞を伝へ居処に出入す。宮室・楼観・城柵、厳かに設け、常に人有り、兵を持して守衛す。

ア 呪術によって人々を支配した。

イ 一般の人々の前に姿をあまり現さなかった。

ウ 一般の人々とは区別された居住空間が設けられていた。

エ 王である夫が亡くなったため、そのかわりに王となった。

オ 弟が統治を補佐した。

問3 下線部bについて述べた文として、正しいものはどれか。一つ選べ。

ア 最大規模の古墳は奈良盆地に所在し、他の地域でそれらを越える規模の古墳は確認できない。

イ 前方後円墳は東北地方北部や北海道にもつくられた。

ウ 古墳時代後期になると増加する横穴式石室は、竖穴式石室に比べて追葬が容易である。

エ 副葬品としては、古墳時代前期～後期を通して玉や鏡がみられるが、中期の古墳から馬具は出土しない。

オ 埴輪の形には地域差があり、円筒埴輪は東国でのみつくられた。

問4 下線部 c に至るまでに起こった7世紀の出来事Ⅰ～Ⅳを古い順に並べたものとして、正しいものはどれか。一つ選べ。

Ⅰ 蘇我蝦夷・入鹿親子が滅ぼされる。

Ⅱ 皇極天皇が譲位する。

Ⅲ 山背大兄王が滅ぼされる。

Ⅳ 大王宮が難波に遷される。

ア Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ→Ⅳ

イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅳ→Ⅱ

ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ→Ⅳ

エ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ→Ⅳ

オ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ→Ⅳ

カ Ⅳ→Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ

問5 下線部 d のような動きは7世紀を通して進んだが、これに関連する内容を記した史料として適当でないものはどれか。一つ選べ。

ア 詔を承^{うけたまわ}りては必ず謹め。君をば則ち天とし、臣をば則ち地とす。

イ 率土の百姓、四方に浮浪して課役を規^き避^ひし、(中略)王臣、本属を経ずして、私に自ら駑^{くし}使^しす。

ウ 大君は神にし坐せば赤駒の匍^は匍^らふ田井を都となしつ

エ 部曲の民、処々の田莊を罷^やめよ。仍りて食封を大夫より以上に賜ふこと、各差有らむ。

オ 国司・国造、百姓に斂^{おさ}めとること勿れ。国に二の君非ず、民に兩^{ふたり}の主なし。

問6 空欄 B にあてはまる語はどれか。一つ選べ。

ア 大極殿

イ 紫宸殿

ウ 清涼殿

エ 朝堂

オ 羅城門

Ⅱ 次の〈史料〉は、藤原宗忠が記した日記『中右記』の一節である。これを読んで、問1～10に答えよ。問1～9については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。問10については、解答を記述解答用紙に記入せよ。なお、設問に関係しない空欄もある。

〈史料〉

早旦、殿下（注1）に参る。急ぎ参内せしめ給うなり。山の所司（注2）等十余人、参内し、門前に申して云わく、藤氏（注3）の公卿、山を申し行わる（注4）旨、頗る不便の聞こえありと云々。予、このことを聞き、神心迷乱す。但し心中誤らざるの由、祈念するばかりなり。（中略）山の^a大衆、甲冑を帶し、東河原（注5）に下り来たり、また奈良の大衆、宇治南辺に来たと云々。天下の災いまだかくの如きことあらず。仏法ただこの時ばかりか。今日、申の時ばかり、^c南京大衆、宇治一の坂の南原において、京武者とすでに合戦し、おのおの死ぬる者・互いに疵を蒙る者多しと云々。この間、^d御宝（注6）を野外に投げ棄つるなり。（中略）誠に不便々々。その間の事等、記し尽くすべからず。（中略）武士^e丹後守正盛以下、天下の武者源氏平氏の輩、皆、南京大衆を禦が^fんが為、宇治一の坂辺に遣わすなり。このうち^e檢非違使平正盛・源重時・平忠盛行き向かうなり。遂に以て合戦し、数千人を射殺しんぬ。これ群議により院（注7）の指し遣わすところなり。但し^g檢非違使は別当（注8）に仰せらる（注9）べきなり。しかるに今度、^h別当に仰せられずは、頗る得心（注10）せざるといへども、A大衆を射られんぬ。（中略）ⁱかくのごとき時は一言も加えず、ただ中心（注11）^j慎むばかりなり。また出羽守源光国ならびに大夫尉平盛重を山の西坂下に遣わし、山の大衆の下向を止めらるなり。然りと雖も皆以て下向するなり。開闢^{しか いまど}以來いまだかくのごときあらず。さらに^{かいいく}將門乱逆の如しとてへり。ひとえに追討せらるべきにより、あながち大事に非ずか。今度においては、天台・B一時に滅亡せんと欲す。天下の難、誠に骨肉に入るものか。京都・山寺皆以て騒動す。世間の存亡、ただ一時の程か。悲歎すべしと云々。

（原漢文）

（注1）殿下：藤原忠実。 （注2）所司：代表者。 （注3）藤氏：藤原氏。

（注4）申し行わる：処罰する。 （注5）東河原：鴨川の東岸。

（注6）御宝：春日社の神木。 （注7）院：白河上皇。

（注8）別当：檢非違使庁の長官。この時の別当は藤原宗忠。

（注9）仰せらる：指示される。 （注10）得心：納得。 （注11）中心：心の中。

問1 下線部 a と下線部 c は、当時の京都で暮らす人々にとっては特定の寺院を指している。この寺院の組み合わせとして正しいものはどれか。一つ選べ。

- | | | |
|---|-------|-------|
| ア | a：東大寺 | c：延暦寺 |
| イ | a：延暦寺 | c：興福寺 |
| ウ | a：法隆寺 | c：東大寺 |
| エ | a：興福寺 | c：園城寺 |
| オ | a：園城寺 | c：法隆寺 |

問2 下線部bの姿を描いたものとして正しいものはどれか。一つ選べ。

ア



イ



ウ



エ



オ



※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

画像ア

知恩院所蔵 法然上人行状絵図 卷三十七段二
『続日本の絵巻3 法然上人絵伝 下』（中央公論社1990年出版）

画像イ

東京国立博物館所蔵 冷泉為恭他「春日権現験記絵（模本） 卷第十一」
を加工し問題を作成
<https://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0049928>

画像ウ

知恩院所蔵 法然上人行状絵図 卷四十四段一
『続日本の絵巻3 法然上人絵伝 下』（中央公論社1990年出版）

画像エ

東京国立博物館所蔵 前田氏実・永井幾麻「春日権現験記（模本）」
を加工し問題を作成
<https://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/C0015638>

画像オ

石山寺所蔵「石山寺縁起絵巻 卷四 第三弾」
『日本の絵巻（16）石山寺縁起』48頁（中央公論社、1988年）

問3 下線部 d で記されている行動に関する説明として正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 大衆は、武士の攻撃によって神聖な神木が穢されたと感じたため、これを投げ棄てた。
- イ 大衆は、京武者との戦闘に備え、神の加護を得るために神木を動座させていた。
- ウ 大衆は、自分たちの要求が朝廷に認められなかったのは、自分たちが神に見放されたからだと思い込み、神木を投げ棄てた。
- エ 大衆は、神が乗り移ったとされる神木を投げ棄てることで、その威を貴族たちに恐れさせ、自らの要求を認めさせようとした。
- オ 大衆は、武士からの攻撃に神木は無力だと感じたため、これを投げ棄てた。

問4 下線部 e・下線部 g の人物について説明した文章として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 下線部 e・g とともに日宋貿易に関わることで平氏の経済基盤を作った。
- イ 下線部 e は白河上皇に仕えた北面の武士であった。
- ウ 下線部 e・g とともに伊勢平氏の出身である。
- エ 下線部 g の子である清盛は、下線部 g の弟である忠正と保元の乱において争った。
- オ 下線部 e・g とともに瀬戸内海の手盗追捕で功があった。

問5 下線部 f を設置した天皇の在位中の出来事として正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 元慶官田を設置した。
- イ 胆沢城を設置した。
- ウ 藤原仲成が射殺された。
- エ 藤原種継が暗殺された。
- オ 渤海との通交を開始した。

問6 藤原宗忠が下線部 i のように思ったのは何故か。一つ選べ。

- ア 横暴な振る舞いをする者たちは滅んだ方がよいから。
- イ 武士たちの野蛮な行動は目に余るから。
- ウ 自分の立場をふまえると、乱暴者を鎮めるのは自分の役割ではないから。
- エ 武士たちの働きぶりがあまりに見事だったから。
- オ 本来あってはならないことだが、上皇の権力には逆らわない方が身のためだから。

問7 下線部 j について述べた文として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 平将門は桓武平氏の一族である。
- イ 平将門は東国の複数の国府を攻め落とし、新皇を称した。
- ウ 平将門は平貞盛や藤原秀郷らによって討たれた。
- エ この反乱は、律令の規定に従い、押領使・追捕使が任命されて鎮圧された。
- オ この反乱と同じ時期、瀬戸内海の手盗を率いた藤原純友が伊予の国府を襲撃した。

問8 空欄

B

 に当てはまる語はどれか。一つ選べ。

- ア 法相 イ 臨済 ウ 黄檗 エ 真言 オ 浄土

問9 〈史料〉から読み取れることとして正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 藤原宗忠は、「山の所司」たちが、自分たちの仲間を処罰した藤原氏の公卿たちに対し不満を持っていることに何ら恐れを抱いていない。
- イ 二つの大寺院の大衆は、それぞれに自分たちの要求を受け入れさせようと都の中にまで大挙して押し寄せていた。
- ウ 宇治における「南京大衆」と京武者との戦闘では、京武者側により多数の死傷者が発生した。
- エ 院からの指示を受けた平正盛らの武士は、西坂下において「山の大衆」と戦ってこれを撃退した。
- オ 武士が二つの大寺院の大衆に危害を加えたことに対し、藤原宗忠は「世の中はほんのわずかな時間で減んでしまうものなのだ」と歎いた。

問10 藤原宗忠はこの日記の別の箇所では、白河上皇について「後三条院崩後、天下の政^{まつりごと}をとること五十七年、在位十四年、位を避^さるの後四十三年、意に任せ、法に拘^こらず、除目・叙位^{じもく}を行い給う。古今未だあらず」と記している。この点をふまえて、下線部hにおいて、藤原宗忠が「得心せざる」(納得できない)と感じたのは何故か。その理由を考察し、60字以内で述べなさい。

Ⅲ 日本史探究の授業で、江戸時代の村と百姓について調べている、高校生いろはさんとひふみさんの会話文とそれに関連する史料を読み、問1～10に答えよ。問1～2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～10については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の番号をマークせよ。

いろは：江戸時代の百姓は、どんな生活を送っていたのだろう。

ひふみ：関東の村で作成された **A** 帳（下の史料）を手がかりにしてみよう。この帳面の前書きには、百姓が日常生活で守らなければならない内容がたくさん書いてあるよ。

いろは：文化14年2月付で、山田茂左衛門という幕府代官の役所が宛先になっている。形式的には、村で作成して自ら^a守るべきことを誓約するかたちになっているけれども、ここに書いてあることは領主による百姓の理想像じゃないかな。

ひふみ：第1条で、確実に年貢を納め、諸役を勤めるとともに、上下関係など道徳観念を守ることが強調されているよ。

いろは：第2条は、宗教に関する条項だね。江戸時代には **B** の他にも、禁止されていた宗派があったな。

ひふみ：**B** の他というのは、**C** から派生した宗派のことだね。

いろは：第42条にあるように、村という組織を支えていた百姓の家は、婿取・嫁取による婚姻によって継承されていたと思うけど、その婚姻の儀礼を含めて質素に行うことが求められていたみたい。^b

ひふみ：第34条では、従来の村の祭りであっても派手になるようなことがある場合には、役所のご意向をうかがうと言っている。このような条項があるというのは、非日常のイベントにはそうした傾向があったということを逆に示しているね。

いろは：日常生活では、**A** の規制を受けていたように思える。普段の農作業に精を出しているかどうか、決まりごとにしたがっているかどうかを、監視し合っていたということかな。それと、第8条にあるように、領主から課される年貢を村全体で負担する **D** 制という仕組みがあったのも、領主にとって都合のいい制度だね。

ひふみ：でも、その「つけたり」にあるように、病気やけがなど何かの事情で農作業が不自由な百姓には、他の百姓がサポートすることになっているのは興味深いな。

いろは：江戸時代の村は、村民が協力し合って成り立っていたということだね。

（史料）

（第1条）

一 第一御公儀様を重んじ、御年貢・諸役など大切にあい勤め、**E**、ものごと実体に頼もしくつかまつるべく候、（中略）

（第2条）

一 **B** 宗門の義、毎年御改の節、寺判を取り、帳面差し上げ申し候通り、一人もたしかならざる者御座なく候、（中略）

（第3条）

一 五人組の儀、町は家並、在郷は最寄り次第五軒ずつ組み合わせ申すべく候、五人組の内、一人ずつ頭を立て、あい互いに諸事吟味つかまつり、（中略）^x百姓は耕作に念を入れ精を出し、御仕置きの趣あい守り申すべく候、（中略）御仕置きの儀少しなりとも愚かに存じ候者御座候わば、異見（注1）つかまつるべく候、もし異見をも用い申さず、御仕置き違背つかまつり候者御座候わば、早々御注進（注2）申し上げべく候、（中略）

（第8条）

一 身体ならざる百姓は、秋中より名主・組頭・五人組見計らい、その者の御年貢納めるべきつもりあい考え、（中略）御年貢滞りなき様つかまつるべく候、もし油断いたし米金不足いたさせ候か、^{かけおち}欠落（注3）などつかまつり候て、御年貢不足つかまつり候わば、村中にて弁納つかまつるべく候御事

^yつけたり（注4）、百姓仲間あいわずらい、耕作しおくれ申す者御座候わば、五人組は申すに及ばず、村中にてしつけ、とり納めの時分は、助け合い申すべく候御事

（第11条）

一 何事によらず、^c一味同心神水の義は申し上げるに及ばず、**F**、（中略）

（第13条）

一 町在郷において、^d欠落者・諸牢人ならびに雲助（注5）・無宿の類、そうじてゆくえも知れざる怪しき者

に一夜の宿も借し申すまじく候、(中略)

(第34条)

一 ありきたり(注6)候祭礼なりとも、**G**、(中略)

(第42条)

一 婿取り・嫁取りの義、身代相応より軽くつかまつるべく候、(中略)祝言振る舞い、その外の振る舞い、以下からくつかまつるべく候御事

(注1) 異見：意見。 (注2) 注進：届け出る。 (注3) 欠落：居住地を離れ、行方をくらます。

(注4) つけたり：つけたし。 (注5) 雲助：住所不定の道中人足。 (注6) ありきたり：従来の。ありふれた。

問1 空欄 **A** に該当する語を、史料中に使用されている語から見つけ出して漢字で記せ。

問2 空欄 **D** に該当する語を、漢字で記せ。

問3 下線部 a より前に起こった出来事を二つ選べ。

- ア ロシア使節のラクスマンが、通商を求めて根室に来航した。
- イ 幕府は異国船打払令を発令した。
- ウ オランダ国王から開国の勸告書が届いた。
- エ 庄内藩で三方領知替え反対一揆が起こった。
- オ 安藤昌益が『自然真営道』を書いた。

問4 空欄 **B** に該当する宗教が禁止された理由として、適切でないものはどれか。一つ選べ。

- ア これを基盤に地域を支配する大名があらわれた。
- イ 他の宗教施設を破壊した。
- ウ 中世以来の支配者の地位を否定した。
- エ 布教活動を行う組織が大名から領地を寄進された。
- オ これを基盤に一揆を起こす可能性があった。

問5 下線部 b に関連して、江戸時代の百姓の家や家族に関する説明として、適切でないものはどれか。一つ選べ。

- ア 多くの場合、男性が当主となって財産を管理した。
- イ 夫が離縁を承諾しないとき、妻には離縁を求める手段がなかった。
- ウ 家の構成員は、男女を問わず労働に従事するのが一般的であった。
- エ 女性には三従の教えが説かれた。
- オ 夫により作成された夫婦の離縁状は、再婚の自由を保障する文書でもあった。

問6 空欄 **C** の開祖が重視したものはどれか。一つ選べ。

- ア 只管打坐 イ 題目 ウ 公案 エ 専修念仏 オ 大蔵經

問7 下線部 c に関連して、江戸時代の民衆社会や文化についての説明として、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 人々が結束する際に行われる一味神水は、江戸時代に初めて登場した儀礼である。
- イ 歌舞伎という演劇が行われたのは、江戸などの大都市に限られた。
- ウ 鎖国という対外的政策のもと、海外を題材とした演劇は見られなかった。
- エ 商品経済の進展にしたがって地方の名産品が登場し、郷土意識が広がった。
- オ 庶民教育機関である寺子屋では、一斉講義方式で授業が行われ、人々の識字率が上昇した。

問8 江戸時代後期、下線部dに対応した政策として、適切なものはどれか。二つ選べ。

- ア 関東取締出役が設置された。
- イ 棄捐令が発令された。
- ウ 相対済し令が発令された
- エ 目安箱が設置された。
- オ 人足寄場が設置された。

問9 空欄

 ・

 ・

 に該当するのは、次の史料文Ⅰ～Ⅲのどれか。その組み合わせとして、正しいものを一つ選べ。

- Ⅰ 目立ち候義候わば、その節、御下知を得申すべく候
- Ⅱ もっとも親孝行を尽くし、下人は主にしたがひ、夫婦仲よく、兄弟親しく
- Ⅲ そうじて徒党がましき義、一切つかまつりまじく候

- | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| ア <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">E</table> - Ⅰ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">F</table> - Ⅱ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">G</table> - Ⅲ | イ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">E</table> - Ⅰ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">F</table> - Ⅲ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">G</table> - Ⅱ |
| ウ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">E</table> - Ⅱ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">F</table> - Ⅰ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">G</table> - Ⅲ | エ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">E</table> - Ⅱ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">F</table> - Ⅲ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">G</table> - Ⅰ |
| オ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">E</table> - Ⅲ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">F</table> - Ⅰ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">G</table> - Ⅱ | カ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">E</table> - Ⅲ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">F</table> - Ⅱ | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">G</table> - Ⅰ |

問10 江戸時代の村には複数の機能がかった。波線部X・Yと、それが意味する村の機能を示す文Ⅰ～Ⅲとの組み合わせとして、もっとも適当なものはどれか。一つ選べ。

- Ⅰ 村は、村民の生活を縛る組織であった。
- Ⅱ 村は、村のことは村で決めるという自治の組織であった。
- Ⅲ 村は、村民の生存を保障する組織であった。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| ア X - Ⅰ Y - Ⅱ | イ X - Ⅰ Y - Ⅲ | ウ X - Ⅱ Y - Ⅰ |
| エ X - Ⅱ Y - Ⅲ | オ X - Ⅲ Y - Ⅰ | カ X - Ⅲ Y - Ⅱ |

Ⅳ 19世紀における宗教・民俗とそれに関連する次の史料1～5を読み、問1～4に答えよ。問1～2については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の番号をマークせよ。問3～4については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。

(史料1)

大坂より若き女五十人余、めいめいひしゃく一本ずつ持ち、(中略)髪は男まげに結い、さらし手ぬぐいほおかむり、笠に御蔭と書き、めいめい旗をたて、抜参りと書き

(史料2)

今般諸国大小の神社において、神仏混淆の儀は御廃止にあいなり候につき、別当・社僧の輩は還俗の上、神主・社人等の称号にあい転じ、神道をもって勤仕いたすべく候

(史料3)

私共儀、先祖より申し伝えの儀これあり、天主教のほか何宗とても決して後世の助けにあいならず候えども、御大法の儀につき、是迄は余儀なく旦那寺聖徳寺引導請け来たり候えども、(中略)フランス寺教化の様子承り候ところ、先祖伝来の儀と符合つかまつり候につき、別て信仰つかまつる、(中略)右一件申し上げ書、卯(慶応3年)三月十四日、公事方かかりへ差し出し候

(史料4)

政教の異なる、もとより混淆すべからず。政は人事なり、形を制するのみ。しこうして邦域(注)をかぎれるなり。教は神為なり、心を制す。しこうして万国に通ずるなり。

(注) 邦域：一国の範囲、領分。

(史料5)

今般改暦につき、人日・上巳・端午・七夕・重陽の A を廃し、神武天皇即位日・天長節の両日をもって自今祝日と定められ候事

問1 史料1に記されている集団はどこを目指していたと考えられるか。一つ選べ。

ア 京都御所 イ 江戸城 ウ 延暦寺 エ 日光東照宮 オ 伊勢神宮

問2 史料2～4が表明された時期を、時系列に正しく配列したものはどれか。一つ選べ。

ア 2→3→4 イ 2→4→3 ウ 3→2→4
エ 3→4→2 オ 4→2→3 カ 4→3→2

問3 史料4の著者は浄土真宗本願寺派の僧侶である。この人物の姓名を漢字で記せ。

問4 空欄 A に該当するのは、江戸時代、年中行事やそれを実施する日を意味する言葉である。地域によっては、それ以降においても継続して実施されている、こうした行事を表わす語句を漢字3字で記せ。

V 次の文章とそれに関する史料を読み、下記の問1～5に答えよ。それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。なお史料は読みやすいように適宜改めている。

「スペイン風邪」は、かつて世界中で流行したインフルエンザの俗称である。発生源は不明だが、スペインが最初に報道したことからその名前がついたといわれる。猛威をふるったこの感染症による死者は、全世界でおよそ3700～4600万人、日本ではおよそ45～52万人といわれる。【史料】は、この「スペイン風邪」について報じたある日の『東京朝日新聞』の記事である（2項目とも同じ日のもの）。

【史料】

■感冒猛烈 最近二週間に府下で千三百の死亡 新患者日増に殖える

再び襲来した流行性感冒は、昨今愈^{いよいよ}其勢ひを増し、盛んに上流家庭を襲ひ、大臣では原首相を初め内田外相、高橋蔵相等相次で引籠り中で、他の大官連にも罹^{りびよう}病者が少くない、警視庁医務課の防疫官は語る「今度の感冒は至つて質^aが悪く、発病後直に肺炎を併発するので死亡者は著しく増加し、先月十一日から二十日迄に流行性感冒で死んだ人は二百八十九名、肺炎を併発して死んだ人は四百十七名に達し、爾来^{じらい}（注1）漸次病毒は濃厚となり患者は日増に殖えるので、従つて死亡者も多くなり（中略）西多摩郡五日市町でも感冒猖獗^{しょうけつ}を極め（注2）、為に医師に不足を生じ、警視庁医務課へ応援を求めて来たから、二名の医師を派して病毒の撲滅に努めてゐる、予防は患者に接近しないこと、感冒の気味なら入浴せぬこと、芝居活動等の多数の集合する場所へ行かない様にすればよい」

■各校長に適宜の処置を望む 羽田学務課長談

警視庁医務課員の話にも「多数集合する場所へ行かない様にすればよい」とは感冒の予防法であるが、差当り纖弱^{かよわ}い體質を有つ小学校幾万の児童は至極危険である訳である、羽田東京府学務課長は語る「近頃になつてブリ返して来た感冒は却々悪性らしいので、市内ばかりでなく府下一般の小学校へも此際十分の注意予防を講ずるやうに通告して置いた（中略）今度も勿論学校生徒の大部分が冒^{おか}されたら、全部休校するなり一部の学級を休ませる事も宜い、各校長がその校内患者の数を見て適宜臨機の処置に出づる事を望む」

（注1）爾来：それ以来。 （注2）猖獗を極め：猛威をふるうこと。

問1 この新聞記事が掲載された年と同じ年に起こった出来事はどれか。史料のなかに出てくる首相の名前を手掛かりにして、一つ選べ。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ア 関東大震災がおこった。 | イ 治安維持法が制定された。 |
| ウ 三・一独立運動がおこった。 | エ ワシントン海軍軍備制限条約が結ばれた。 |
| オ 二十一カ条の要求を日本が行った。 | |

問2 下線部 a の人物が、この記事のあと改めて大蔵大臣になったときに行った政策について述べた文章として正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 金輸出の再禁止を行い、事実上の管理通貨制度に移行した。
- イ 石炭・鉄鋼などの重要産業部門に資金と資材を重点的に割り当てた。
- ウ 台湾銀行救済のために緊急勅令を出そうとしたが、枢密院の反対で失敗した。
- エ 貨幣法を制定して、金本位制を採用した。
- オ 金輸出解禁を行ったが、世界恐慌の影響を受けて日本経済は不況となった。

問3 下線部 b に関連して、近代日本の映画・演劇にかかわって記した以下の文章のうち、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 阪急電鉄社長の浅野総一郎は、鉄道以外にも遊園地や宝塚少女歌劇団を経営した。
- イ 活動写真とよばれた映画は、弁士が無声映画を解説するトーキーという形態ではじまった。
- ウ 小山内薫・土方与志らが築地小劇場を設立し、知識人や学生の支持を得た。
- エ 松井須磨子はオペラ『蝶々夫人』で国際的な名声を得て、世界各地の舞台に立った。
- オ 西洋の近代劇を翻訳して上演する新しい演劇は、新派劇とよばれた。

問4 下線部 c に関連して、近代日本の初等教育について述べた以下の文章を読み、正誤の正しい組み合わせを一つ選べ。

- ① 明治前期の義務教育の女子就学率は男子に比べて低かったが、明治末期になると、ともに100%近くになった。
 - ② 満洲事変のあと、小学校の教科書が国定教科書となり、国家による教育統制が強まった。
 - ③ 1941年に小学校が国民学校に改められ、「皇国の道」に基づいた国家主義的教育が行われた。
- ア ①—正 ②—正 ③—正 イ ①—正 ②—正 ③—誤 ウ ①—誤 ②—正 ③—誤
エ ①—誤 ②—正 ③—正 オ ①—正 ②—誤 ③—正 カ ①—誤 ②—誤 ③—正

問5 史料に記されていない内容はどれか。二つ選べ。

- ア 感冒の流行を防ぐためには、人が多く集まる場所へ行かないようにすればよい。
- イ 小学校の休校は、市町村長が管轄内の患者数をみて適宜決めることが望ましい。
- ウ 老人は身体が弱く感染するリスクがより高いので、特に予防に気をつけるべきである。
- エ 感冒の流行のため一部の閣僚は引き籠もり、高官たちの中にも感染者が少なからず出ている。
- オ 感冒の流行のため西多摩郡では医師不足がおこり、警視庁から医師が派遣された。

Ⅵ 次の文章とそれに関する史料を読み、下記の問1～7に答えよ。問1，2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～7については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

朝鮮戦争が終わったあと日本は年平均10%の実質経済成長率を記録し、その経済成長は高度経済成長とよばれる。この時期に日本の産業構造は大きく変化し、人々の生活様式も変わった。^a

高度経済成長は日本国民の生活水準を向上させたが、一方で自然環境や人間の健康を犠牲にしたうえに成り立っていた。そのひとつが公害病で、1950年代に最初の患者が報告されたある地域では、運動障害・聴力低下・言語障害・視野狭窄などの症状をもった患者が次々と亡くなっていた。原因は企業の工場排水に含まれた水銀が、不知火海の魚介類を介して人体に入り神経をおかしたことだった。この地域の公害病は **A** 病とよばれる。

また高度経済成長は、農村から都市への大規模な人口移動を引き起こした。1972年首相に就任した人物は^b、「日本列島改造論」を提唱して社会の変化に対応しようとしていた。次の【史料】は、その首相による同名の著書の一部である。

※この部分は、著作権の関係により掲載ができません。

新潟県出身のこの首相は、近世では主要な交通路として発達していた日本海側が、明治以降インフラ投資により近代化が進んだ太平洋側に比して経済的に遅れをとったことなど、大都市と地方の格差是正を目指していた。しかし「日本列島改造論」は、開発による地価上昇を見越した企業の土地投機が地価の騰貴を招いた。さらに第一次石油危機^cも加わって激しいインフレーションがおり、**C** とよばれる物価高騰に加え商品の買い占めが起こるなど市民生活は混乱した。1974年度に日本は戦後初のマイナス成長を記録して高度経済成長は終わり^d、「日本列島改造論」も頓挫した。

（注1）表日本と裏日本：太平洋側と日本海側を対比して当時用いられた言葉。

問1 **A** にあてはまる語句を、漢字で記せ。

問2 **C** にあてはまる語句を、漢字で記せ。

問3 **B** にあてはまる語句はどれか。一つ選べ。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| ア 富の独占と低賃金 | イ 高齢化と少子化 | ウ インフレと不況 |
| エ 開発と自然破壊 | オ 過密と過疎 | |

問4 下線部 a に関連した以下の文章のうち、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 石炭から石油へのエネルギーの転換が進み、石炭産業は「斜陽産業」と呼ばれるようになった。
- イ 労働組合の拡大が進み、1969年に日本労働組合総連合会（連合）が結成された。
- ウ 普及の進んだ白黒テレビ・電気冷蔵庫・電気洗濯機が「三種の神器」とよばれた。
- エ 技術革新と設備投資が進み、1968年に日本のG N Pは資本主義諸国の中で第2位となった。
- オ 都市部を中心に、夫婦と未婚の子女のみから構成される核家族が増加した。

問5 以下の史料のうち、下線部 **b** にある人物が首相のときに締結または署名された条約・協定・宣言・声明の文章はどれか。一つ選べ。

ア 日本国の安全に寄与し、並びに極東における国際の平和及び安全の維持に寄与するため、アメリカ合衆国は、その陸軍、空軍及び海軍が日本国において施設及び区域を使用することを許される。

イ 日本側は、過去において日本国が戦争を通じて中国国民に重大な損害を与えたことについての責任を痛感し、深く反省する。

ウ 日本国とソヴィエト社会主義共和国連邦との間の戦争状態は、この宣言が効力を生ずる日に終了し、両国の間に平和及び友好善隣関係が回復される。

エ 千九百十年八月二十二日以前に大日本帝国と大韓帝国との間で締結されたすべての条約及び協定は、もはや無効であることが確認される。

オ アメリカ合衆国は（中略）琉球諸島及び大東諸島に関し、千九百五十一年九月八日にサン・フランシスコ市で署名された日本国との平和条約第三条の規定に基づくすべての権利及び利益を、この協定の効力発生の日から日本国のために放棄する。

問6 下線部 **c** の前後に起こった①～③のできごとを、時系列に正しく配列したものはどれか。一つ選べ。

① 先進国首脳会議（サミット）が初めて開催された。

② 金とドルの交換が停止された。

③ 日本が変動相場制へ移行した。

ア ①→②→③

イ ①→③→②

ウ ②→①→③

エ ②→③→①

オ ③→①→②

カ ③→②→①

問7 下線部 **d** に関連して、高度経済成長が終焉して以降の日本の状況として正しいものはどれか。一つ選べ。

ア プラザ合意によって円高が抑制され、日本製品の海外への輸出額が増加した。

イ 農業基本法が制定され、機械化や大規模化といった農業構造の改善や他産業との格差是正が目指された。

ウ 日本とアメリカのあいだで貿易摩擦がおり、アメリカではジャパン＝バッシングが強まった。

エ 中曽根康弘内閣は行財政改革を推進するとともに、税収増加のため消費税の導入を実現した。

オ 低迷していた日本の経済成長は、1980年代にプラスへ転じ成長率5%前後の安定成長期に入った。

〔以 下 余 白〕

日本史
(記述解答用紙)

- 注 意
1. 受験番号（算用数字）・氏名は指示に従って
ただちに所定欄に記入し、それ以外に記入
してはならない。

2. 解答はすべて所定の解答欄に横書きで記入す
ること。所定欄以外に何かを記入した解答
用紙は採点の対象外となる場合がある。

3. 解答はHBの黒鉛筆またはHBのシャープペ
ンシルで書くこと。

4. 試験終了時には、この解答用紙を裏返して机
の上に置き、指示を待つこと。

〈2025 R 07190015（日本史）〉

受験 番号	万	千	百	十	一
氏 名					

（注意） 所定欄以外に受験番号・氏名を
記入してはならない。記入した
解答用紙は採点の対象外となる
場合がある。

〈2025 R 07190015（日本史）〉

受験 番号	万	千	百	十	一
氏 名					

（注意） 所定欄以外に受験番号・氏名を
記入してはならない。記入した
解答用紙は採点の対象外となる
場合がある。

採 点 欄

(この欄に書き入れてはならない)

I	問 1		I		I	
II	問10		II		II	
III	問 1		III		III	
	問 2					
IV	問 3		IV		IV	
	問 4					
VI	問 1		VI		VI	
	問 2					